

学 校 だ よ り



100kmウルトラマラソンボランティア



クリーン作戦



箱石浜植栽ボランティア



進路分野別学習 (2年)



伝統文化発展・継承事業「和歌を詠む」



避難・防災訓練



高龍中福祉体験学習



保育実習



生徒会執行部 (後期)



与謝の海支援学校交流会

平成24年度 第2号

PTA会報

発行日 平成24年12月20日

発行 京都府立久美浜高等学校PTA



京都府立久美浜高等学校PTA

御挨拶

副会長
岸田 利道

木枯らしが吹く季節となりました。

今年度、PTAの役員となり、いろいろな行事に参加させていただき、先生方や子どもと接する機会も沢山ありました。振り返ってみますと、文化祭での模擬店などは、PTA役員の方の御協力により、カレールイス、うどん、フランクフルト、ジュースというメニューを用意したところ、2日間とも大好評、即完売となり食べ盛りの子ども達の食欲に感じました。

また体育祭では、リレーで子ども達の体力を感じたPTAの方々も多かったと思います。

そして、PTA親睦球技大会では、多くの方々の参加があり、先生方とも楽しく過ごすことができました。

さて、今年度も残すところ3学期だけとなり、子ども達の進路もほぼ決まったと思います。残りわずかですが、子ども達には有意義な学生生活を送ってほしいと思います。

最後に、PTA行事活動が、ますます発展いたしますようお願いいたします。

不慣れで、皆様に御迷惑をおかけしましたが、貴重な経験をさせていただくことができました。本当に、ありがとうございます。

御挨拶

副会長
平林 克也

今年度も残すところ三学期のみとなりました。三年生の中には進路も決まって最後の高校生活を楽しんでる人もいることと思います。

さて、今年度のPTAの役員として、あまり活動ができなく反省をしているところですが、行事に携わる中で、直接生徒たちと接する機会がありました。「今どきの高校生は！」と思っていたが、私が高校生の時と変わらない面があり、うれしく思うことができました。

私の家の前を通って学校に行く生徒がたくさんいます。挨拶をする子、挨拶をすると返してくれる子、挨拶をしない子、気づいていない子、色々な生徒が通ります。ヘッドフォンをしたままで知らない顔で通る子供には「なんだ！いまだきの高校生は！」と、おっさんの考えで思うこともありすが、ある行事に参加したところ、その挨拶をしない子が自分から挨拶をしてくれました。そして人懐っこく話してくれたのです。

今の高校生も私の高校時代と変わらない。私の高校時代の反省も含めて「もう少しだけ気をつけて、地域の人にも挨拶をしたらいいのに。」と感じました。挨拶って大事ですよ。皆様のご活躍を祈念いたします。

不安・不満を
「感謝」に変えて校長
三好 正志

今年度も文化祭の模擬店には大変多くの皆様にお世話になりました。文化祭当日だけでなく準備段階においても積極的に活動いただき感謝しております。当日は、生き生きとした生徒達の、明るく素直な表情を見て安心して頂けたと思います。また、取組をとおして保護者同士のつながりが深まったことと思います。

その他にも体育祭や親睦球技大会、千日会巡回指導、交通安全指導、指導者研修会など様々な活動に対し会員の皆様が上手に御協力をいただき深く感謝しております。

さて、先日ニュース番組でカリスマ経営者といわれている 春山 満氏(58歳)が「なくしたものを数えるな」と若者に語りかけていました。春山氏は、26歳で筋ジストロフィーを発症し、首から下が動かなくなりしました。深い絶望を味わいながらも、見る・聞く・話すとして考えるなど自分に残された能力を最大限発揮し、経営者として成功を収め現在に至っています。

彼の話の中に、小学生の息子に野球を教える場面がありました。壁当てをする息子に、ボールの握り方や足の上げ方などを言葉で教えるのですが上手くないまま。もどかしさにいらだちを覚え、声を荒げた春山さんに対して、息子さんはグローブを地面に投げつけ「もうええ！何でお父ちゃんは僕の手を取って教えてくれへんのや。野球なんか嫌いや！」と泣きながら家に入ったそうです。その場に残された春山さんは、一人車いすの上で声をあげて泣いたそうです。

しかし、春山さんは外で思いっきり泣いた後、「俺には父親らしいことは何にもできんけど、それでも俺はおまえの親父やからな！」絶対おまえを守つたる。」そう心の中で決めたそうです。「僕は、色々な悲しみの中で強くなつた。」と語る春山さんの姿に驚きと迫力を感じました。

人生には様々な試練が押し寄せてきます。それでも見方や考え方を変え、と、今まで気づかなかったことに気づくことができます。不平・不満を並べ、なくしたものを数えるよりも、何事にも前向きに考え、立ち向かう力を持つことが、どれだけ大事なことを考えさせられました。日常には不安や不満が多くありますが、それらをバネにして「感謝」に変えて少しでも前向きに生きることができるよう、春山さんから勇気をもらったように思いました。



進学講演会



文化祭模擬店「ママス&パパス」



親睦球技大会 (グラウンドゴルフ)



文化祭模擬店準備

平成24年度 PTA事業

5月	12	PTA初総会
	16	市PTA協議会久美浜ブロック 初総会
	28	国道178号(甲山)道路改良促進 期成会総会
6月	3	府丹後地方PTA指導者研修会
	8	府立高校PTA連合会総会
7月	12	京都府PTA指導者中央研修会
	13	PTA進学講演会
	20	「PTA会報1号」発行
	9	千日会巡回指導

地区懇談会

9月	5・6	文化祭参加(模擬店)
	24~28	交通安全指導
	27	体育祭
10月	21	親睦球技大会
11月	10	PTA指導者研修会 (両丹ブロック)
12月	3~7	次年度本部役員立候補受付
	20	「PTA会報2号」発行
2月	中	丹後地方学校安全研究協議会
	23	PTA年度末総会
3月	下	「PTA会報」3号発行
	上	市PTA協議会久美浜ブロック 年度末総会
	下	有線放送(PTA活動報告)
	下	PTA会計決算会・監査会

PTA進路講演会 7月13日



PTA行事 参加記

約30名のPTA会員の方が参加されました。篠原充彦氏（ファイナンシャルプランナー）を講師にお招きし、奨学金や教育ローンの活用方法など詳しく聞かせていただきました。

PTA進路講演会に 参加して

参加者の感想

- とてもわかりやすく説明していただいて、何となくわかっていました。通帳の管理をまとめしておくことなど、自分の生活も振り返ることができました。
- 子どもを進学させるのにかかる費用を漠然と考えてはいましたが、この講演を聞いてかなりイメージができました。奨学金や教育ローンの活用によって、一度に負担がのしかかることを回避することができることもわかりました。

文化祭 PTA 模擬店 9月5日・6日



PTA模擬店に 参加して

参加者の感想

- 初めて参加させていただきました。模擬店に買いに来る生徒のマナーの良さに嬉しく思いました。PTAとしても応援していただけるのは協力したと思えた一日でした。行事を通じて我が子だけでなく、少しでも学校の様子も知ることができ、参加できてよかったと感じています。
- 初めての参加で、どうしたらいいのか、どうなっているのかとても心配でしたが、準備をしながら他のお父さんやお母さんとお話しているのが楽しかったです。また、販売しながら我が子以外の子供たちに触れ合えたことがとてもよかったです。子供たちは、男の子も女の子もとても礼儀正しく、優しく、そして笑顔で接してくれる、そんなひとときが与えられたことに感謝しています。子供たちは本当に素直でとてもかわいかったです。

PTA 親睦球技大会 10月21日



参加者の感想

PTA 親睦球技大会に参加して

・初めて参加しましたが楽しかったです。また、参加したいと思えますのでこれからも続けてほしいと思います。

・毎年参加させていただいています。同じ地区の方と楽しくプレーできて良かったです。来年も参加予定です!!

・私にとって最後の親睦球技大会は天候に恵まれ、同じ地区の人たちとも久しぶりに顔を合わせ、和やかなムードで楽しませていただきました。

・久しぶりに参加させていただきました。ストレス発散にもなり楽しかったです。

・あつという間の2時間でした。同じ地区の方の参加がなかったのは残念でしたが、他の地区の方と懇親を深められたように思います。

参加者の感想

体育祭を応援して

・自分の出番以外でも、仲間をしっかりと応援するということを意識して、心がけているように思えました。人数が少ないせいか、アットホームな印象でした。お茶のサービス、嬉しかったです。

・昨年も来ましたが、子供たちが真剣に行事に取り組んでいる姿に感動し、楽しく見せてもらいました。1年生はまだ控えめなところが見え、2年生はチームワークが感じられました。

体育祭応援 9月27日



PTA指導者研修会 11月10日



交通安全指導 9月24日～28日



最高の思い出 修学旅行



平

和学習を通して、戦争の怖さを学ぶことができませんでした。祖父が出兵経験があるということもあり、幼い時から、戦争の話聞くことも多かったのですが、今回の講話では兵隊とは違い一般市民の立場から話を聞くことができ、新たな視点で平和について学ぶことができました。

また、民泊先の伊江島では、今でも町中に大砲が置かれていたり、家のすぐ近くにアメリカ軍の演習場があるなど、終戦から何十年も過ぎた今でも完全に傷跡が消えていないと感じました。夜間でも関係なく聞こえる飛行機の音に「信じられへんやろ」と言っていた民泊先ママさんの言葉には、未だ解決しない問題への怒りも感じられました。

伊

伊江島の民泊は、はじめは緊張しましたが、伊江島の皆さんは初対面にもかかわらずまるで家族のように気軽に接してくれて、10分もすれば完全に自分たちもおさない時から「この島に住んでいた」というような気持ちになりました。家はとても小さく、平屋建てで、台風が多い沖縄らしさを感じました。伊江島の風景は丹後とよく似ていて、丹後が大好きな自分としてはかなり楽しかったです。そして、そんな自分の好きな丹後でもこのような民泊などを導入した町おこしができないかと考えました。もし、そのような計画ができれば、将来そんな仕事をやってみたいと思います。



伊

伊江島の人達が迎えてくれた時、温かい人達だと思いました。僕達が民泊した家の人は、とてもやさしくて、自分の息子のように可愛がってくれました。僕達が「どこか行きたい」と言ったらいろいろな所に連れて行ってくれたりほんとにやさしい人たちでした。三味線も教えてもらい、勉強になりました。沖縄の人は戦争で苦しい思いをされたから、どんな人にもやさしく接してくれるのかなあと思いました。また行ける機会があれば行きたいです。

今

僕達が何不自由なく生活していることは、当時では当たり前ではなく、いつも、死の恐怖と隣合わせの日を過ごしていたんだということを知りました。僕は毎日空から爆弾が落ちてこないか、どこからか撃たれたりすることはないだろうか、食べ物や水がなくならないだろうか、友達が死ぬんじゃないか、など考えたりもしません。当時の沖縄で起きた悲劇と過ちを繰り返さないように、僕は今を歩いていかないとけないんだと思います。今の平和な生活が、過去の悲しい歴史によって築き上げられているということを忘れないでいきたいです。



修

学旅行1日目、平和講話を聞かせていただきました。それが今回の修学旅行で衝撃的だったことの1つです。戦争を体験した人の話を聞き、私のなかに何より残った言葉は「僕のことを知っている人には、会いたいけれど会いたくないんです。…みんな僕を見るよ」と言っています。「あなた、生きていたんだね…」って。だけど『生きていて良かったね。』とは、絶対に言わないんです。その代りに『うちの子どもが生きようたら、あんたみたいに大きくなっていたんだ…』。そう言っています。だから会いたいけど、会いたくないんです。』でした。考えてみたらそうです。私がごちそう側の人間だとしても、同じ気持ちになっしてしまいます。生きることと素直に喜べるばかりじゃないんですね。負い目を感じてしまいます。事もあろうです。かと思いついて死んでしまつて、遺骨も発見されないままの人もたくさんいる。戦争なんてやっぱり良いことなんてないんです。『命ごとく』と『ついでに』言葉が、私の胸に深く刻まれた気がします。

事

前に観ていった映画とは衝撃が違った。ガマはこんな暗い所で、当時は電気も使えなくて、とても不安だったんだろうなと思いました。とてもひんやりとしていて寒くて正直怖かったです。平和講話を聞かせていただいた時、ずっと涙をこらえていました。戦争を経験していない私がかわいそつだとかで涙するのは無責任だと思ったからです。話を聞いてる中で心に残ったことは、『命ごとく』。『命があれば大丈夫。明日死ぬことを考えるより、命があるだけで、明日があるだけで幸せだ。辛いことなんてない。』胸に突き刺さりました。修学旅行の平和学習で私が学んだことは、『命を大切にすること』と『二度と残酷な戦争を繰り返してはならない』と『戦争を忘れない』と『ついでに』です。今を生きているとき、当たり前だと思わず、幸せをかみしめて生きていきたいと思えました。

民

泊をさせてもらったこと、民泊先の皆さんに会えたこと、本当に幸せでした。伊江島は、ゆっくりとした時間が流れているように、充実した2泊3日を送れたので、あつという間の感じがしました。美味しい料理を作ってくれたおばー、優しく、おもしろくて、温かかったおじー、人の出会いは、様々な思い出に代えられない程、かけがいのないものでした。たくさん『ありがとう』を言いたけれど、『おみやげ』は言いませんでした。『おみやげ』の代わりに『またね』と言ってきました。かけがいのない出会いだったからこそ、またいつか絶対に会いたい。伊江島で過ごした2泊3日は長いよつひの短い時間で、私はきつと忘れられないと思います。幸せでした。本当にありがとうと伝えたいです。感謝してもきれません。



民

泊は正直不安だったけれど、優しくして色々な体験をさせてもらって、すごく楽しかったです。城山から見る景色だったり、沖縄八景に選ばれた場所ハイビスカス園、海などきれいな場所ばかり、いっぱい写真撮れて嬉しかったです。自分で拾った貝でストラップを作りました。全部自分で作るから達成感もあり、楽しくて沢山作りました。民泊先の人にも丁寧な教えてくれ、ずっと一緒にいてくれたので一番話す機会も多かった。私は野菜が嫌いだけれども、伊江島の料理はすごく美味しかった。量が多かったけど、頑張つて全部食べようと思えるくらいだった。とにかく本当に優しく、私達のためにいろいろな場所に連れて行ってくれた。それだけじゃなくて、戦争で亡くなった人のお墓や『命ごとく』の家や爆撃を受けた家などにも連れて行ってくれました。平和だと思っけど、まだ危険が無くなったわけじゃないと思うことができた。景色も綺麗で、自然に囲まれていて、島の人は優しく温かい人達ばかりだったので、またいつか行きたいと思いました。



我が子への一言

3

学年も2学期に入り、進路が決定する時期を迎えた。介護職を目指して、これまで学習に励んできた。そして、10月に入り有り難く内定の通知を頂くことができました。

これまで目標に向かって努力し、頑張つて精進してきた賜だよ。これからもこれまでの気持ち、思いを忘れずに自信を持って進んでいってくれたらうれしい。よく頑張ったね。残りの高校生活も有意義に過ごしてってください。

無

事入学を許され、新しい生活の始まり。1学期はいろ



いろと落ち着きがなく、中学校の延長のようでしたが、2学期からは気持ちを変えたのか少し落ち着き、うれしく思っています。自分のまわりの先生、友達みんなに支えられ、学校生活を送ることができ、感謝でいっぱいです。自分自身、信念を持ち卒業してほしいです。人の痛みが理解できる、如何なる怒りにも心を動かす事なく平然たり得る、人と争う事を好まなくなり、優しさ、正直さなど身に付けていってほしいと思います。



光

を描くとき影も描くように、人の心にも光と影がある。人の光の部分だけ見て決めつけずに、角度を変えて見ると新しい発見があるかもしれない。自分の心も影となっている部分も受け入れ、自信を持って行動してほしい。

時

が流れるのも早いものです。小さくて、かわいらしい産声を今でも昨日のこのように覚えています。気づけば、息子も高校2年生。背も高く、態度もでかく、毎日腹の立つことばかり...だけど、親が言うのもなんですが、挨拶もちゃんとでき、思いやりのある男の子に成長し





大縄跳び

体育祭

総合成績

優勝	第2学年
準優勝	第3学年
第3位	第1学年

勝利のために一致団結!!



綱引き
優勝第3学年



男子800mリレー

文化祭

最優秀賞

3年C組
「恋せよ誠」

特別賞

2年B組
「スパイス～学校
再起動計画～」



優秀賞

2年C組
「ジャージ家族」



ホームページも御覧ください



ホームページ更新回数
49回
(12月現在)

ホームページアドレスは
<http://www.kyoto-be.ne.jp/kumihama-hs/>

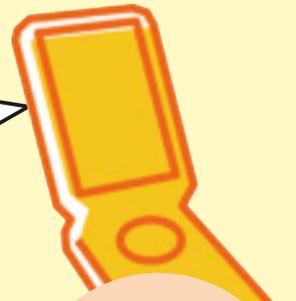


学校情報メール配信のお知らせ

メール配信は、学校行事等を携帯電話やパソコンにメール送信するものです。

《メール配信(例)》

▼12月の行事予定▼4日(火)～7日(金) 期末考査▼10日(月)、11日(火) 再考査▼12日(水)、13日(木) 5分短縮授業▼14日(金) 10分短縮 午前中授業▼17日(月) 10分短縮授業▼18日(火)、19日(水) 10分短縮 午前中授業▼20日(木) 終業式、大掃除▼21日(金)～成績指導、冬季休業～1月7日(月)



メール配信回数
27回
(12月現在)

今後の登録も行いますので、御希望があれば担任を通して御連絡ください。

久美高の今後の行事

- 1月** 3学期始業式
学年末考査(3年)
社会人との交流会(1年)
- 2月** スキー・スノーボード実習(1年)
文化に親しむ月間
卒業式
- 3月** 学年末考査(1、2年)
ダンス発表会(2年)
3学期終業式

編集委員

林 京子 東 香代子
小西 清 足立 優美



編集後記

P.T.A会報第二号をお届けすることができました。今学期はたくさんの学校行事があり、我が子の成長が感じられたことと思います。

さて、今回の第二号から中刷りが変わっていますが、気づいていただけでした。か。すべてカラーになりました。以前に比べて生徒の表情などが鮮明に分かりやすくなったと思います。また、特集記事「我が子へ一言」では、原稿を会員の皆様に御協力いただき誠にありがとうございました。